

Naruaki TOMA <tnal@ie.u-ryukyu.ac.jp>
宛先: "slab34-dm@ie.u-ryukyu.ac.jp" <slab34-dm@ie.u-ryukyu.ac.jp>
Cc: Naruaki TOMA <tnal@ie.u-ryukyu.ac.jp>
(事前課題) Level 0: オープンソース概観

2013年10月1日 13:41

當問@情報工学科です。

案内その2 (事前課題) です。
この課題へ割り作事間について、どの程度の質や量で調査するかは各自に任せます。
(10分程度でも構いませんし、1時間以上かけても構いません)

疑問/リクエストがあれば連絡ください。

下記に詳細を書いておりますが、注意点として、
・調べるソフトが被ると勿体ないので、事前に ML にて調査対象となるソフト名を報告すること。被った場合には先着順とし、遅かった学生は別のソフトを調査すること。
ですので、事前に調査対象をMLにて報告してください！

=====

>Level 0: オープンソース概観
ソースコードが公開されているソフトウェアの総称をオープンソースと呼ぶ。任意のオープンソースなソフトウェア1件以上について、例えば以下のような項目について調べ、報告すること。
・どこでどのように公開されているのか。
・フォルダ/ファイルの配置はどのようになっているのか。
・どのような種類のドキュメントが用意されているのか。
・ドキュメントの管理/生成に何が使われているのか。
・開発環境や管理に何が使われているのか。
・コンパイル/インストール方法はどのような方法が用いられているのか。
・ライセンスは何が使用されているのか。
・その他気づいたこと。

上記の項目は相互に関連しているものもあるため、必ずしも全項目について各々整理する必要はなく、これらある程度網羅した報告、もしくは興味のある項目に限定した報告となっていれば十分である。また、上記では「あるオープンソース」を前提に調べているが、特定のオープンソースを限定せずに「どのようなライセンスがあるのか」について調べてみるということでも構わないものとする。

達成目標：

研究にしろ就職にしろ数多くの技術がオープンソースに支えられたものである事が多い割に、「あることは知ってても自分で調べたことがない」学生が多い。今後それらを利用する機会が増えるため、その第一歩としてサーベイ (調査) を行う。また、開発コミュニティを形成しているところは最新の技術・ユニークな技術を貪欲に取り入れている事もあるため、そのような精神に学んだ積極性 (新しい技術を取り込み、周りに広める行動力) を身につけることも目標とする。

注意点：

- ・調べる対象はソースが公開されていればどのような種類のソフトであっても構わないが、出来る限りコンパイル・実行できる事を確認すること。どうしても出来ない場合にはその点を含めて報告すること。
- ・調べる対象は必ずしもダウンロードできるファイル一式とは限らない。例えば、SourceForge では WebSite や ML、CVS(Subversion) 等を含めたものが調べる対象となる。
- ・調べるソフトが被ると勿体ないので、事前に ML にて調査対象となるソフト名を報告すること。被った場合には先着順とし、遅かった学生は別のソフトを調査すること。

提出方法：MLにて報告。

後日 wiki の方に掲載してもらうので、最初から掲載しやすいように Blog/PDF等、テキスト以外を用いて報告書を作成しても構わない。その場合にはどこかにアップロードしておき、そのURLを ML にて報告すること。
メール件名は「e0957xx: level0, apache, emacs, nkf」等のようにすると良いでしょう。

提出〆切：実験日の開始前（10/8, 14:40）

P.S.

調査の進め方や整理の仕方によっては1件でも大分時間がかかる内容です。
各自で「これだけやれば良いだろう」と判断できる分量／質で構いません！

Naruaki Toma

E-mail: tnal@ie.u-ryukyu.ac.jp, Tel: 098-895-8830

<http://www.eva.ie.u-ryukyu.ac.jp/~tnal/>